2026/11/3 下午 12:39:57

僑校校長陳洳豔無私奉獻 深耕日本文化交流 三度獲地方政府表揚

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09

大阪弁天町臺灣華語教室為僑務委員會備查僑校，該校校長陳洳豔長年致力於台日民間文化交流與正體華語教學，2024年更積極投入日本各地推動的多文化共生與國際理解教育工作。陳校長不僅以無償參與、主動提供文化資源的方式推動台灣文化，更在短短一年內三度獲得日本地方政府頒發感謝函與感謝狀，顯現其民間外交貢獻獲得當地社會高度肯定。

大阪市市民局於2025年4月25日更新官網「多文化共生社區建設推進區域計畫支援事業」成果專頁，公開表揚陳洳豔校長於2024年度積極參與「日本×台灣料理交流會」及「多文化市集」等官方交流活動。在活動中，陳校長無償擔任志工講師，指導市民親手製作台灣傳統湯圓，提供100份湯圓與在地百位居民分享，並親自教導現場民眾說華語，藉由美食與語言的親切互動，傳達台灣文化的溫度與價值，促進當地對台灣的理解與認同。

大阪市市民局長加藤憲治特別致函表示：「陳洳豔校長不僅成為促進國際友誼與文化理解的契機，也作為大阪市實踐多元文化共生社會的示範案例之一，意義深遠。」該活動成果及陳洳豔校長專訪，已在市民局官方網站與YouTube頻道公開發表，展現台灣僑校教師在日本社會深耕的影響力。

除了大阪地區，陳校長亦支援日本四國香川縣琴平町於2024年舉辦之「第二屆台灣祭・台灣夜市 in 琴平」活動。為深化在地民眾對台灣文化的感知與體驗，她特別提供融合傳統與創意元素的文化素材，包括客家擂茶體驗組、原住民族風頭飾手作材料及台灣文創作品，協助主辦方設置多感官互動展示區，讓當地居民透過味覺、觸覺與創作參與，親身感受台灣文化的多元面貌與生活美學。活動結束後，琴平町町長片岡英樹頒發感謝狀，表彰其對市政文化活動的重大貢獻。

2024年11月，陳洳豔亦應邀擔任東大阪市教育委員會「Colorful Communication」多文化教育推進事業特別講師，前往英田南小學為近百位五年級學生介紹台灣的地理、語言（含方言）、節慶與民俗文化，深受學生與學校歡迎。2025年3月，東大阪市教育委員會頒發感謝狀，肯定其對日本學齡層台灣文化基礎認知之推動。

陳洳豔校長表示：「台日交流需要長期耕耘，更需要願意主動奉獻的人。每一碗湯圓、每一張文化卡片、每一次對話，都是文化的橋梁。」她並強調，作為一所僑委會備查僑校的校長，自己有責任讓台灣文化在日本被真實理解與感受。

從市民活動、校園教學到文化市集，陳洳豔校長以堅定信念與行動，詮釋了民間文化外交的力量。她的無私奉獻讓「台灣」不僅是國家名稱，更成為溫暖、可親、具文化深度的代名詞，在日本社會中逐漸形塑出具體而鮮明的正面印象。

延伸閱讀
日本地方政府對台灣文化參與之肯定與記錄：

- 大阪市市民局「多文化共生社區建設推進區域計畫支援事業」官方成果報導
  https://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000622518.html
- 大阪市市民局官方頻道｜多文化共生推進事業活動影片（含專訪）
  https://www.youtube.com/watch?v=JwO1AqGMxqg
- 「日本×台灣料理交流會」活動紀錄（市民局官方平台）
  https://kyodo-portal.city.osaka.jp/report/24000028031/
- 多文化市集中台灣攤位推廣報導（市民局官方平台）
  https://kyodo-portal.city.osaka.jp/report/24000028007/

僑校校長陳洳豔無私奉獻 深耕日本文化交流 三度獲地方政府表揚

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09



日本四國香川縣琴平町町長的感謝狀

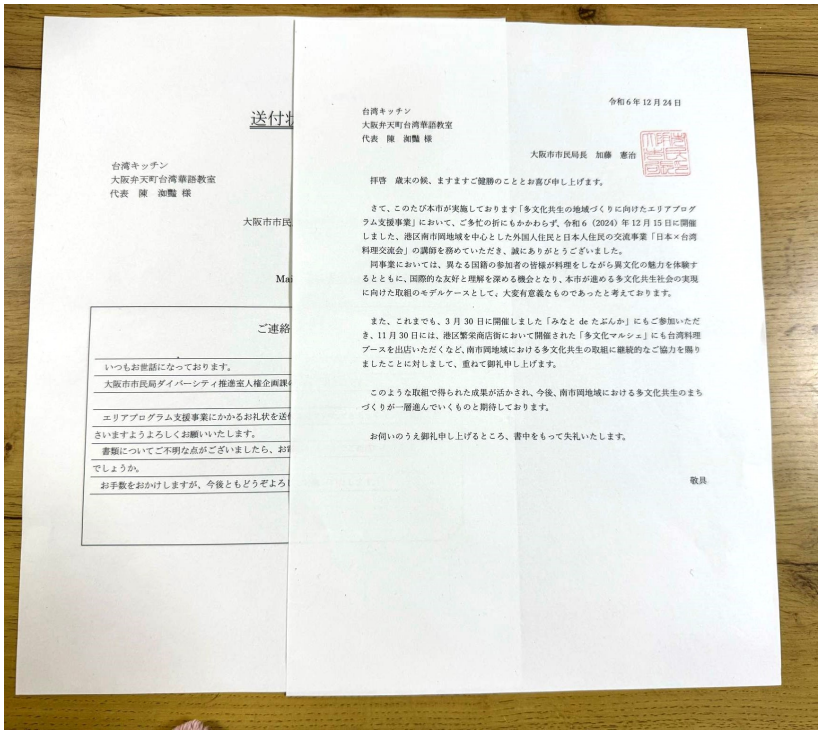
2026/11/3 下午 12:39:57

僑校校長陳洳豔無私奉獻 深耕日本文化交流 三度獲地方政府表揚

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09



令和６年12月24日

台湾キッチン
大阪弁天町台湾華語教室
代表　陳　洳豔　様

大阪市市民局長　加藤　憲治

拝啓　歳末の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本市が実施しております「多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業」において、ご多忙の折にもかかわらず、令和６（2024）年12月15日に開催しました、港区南市岡地域を中心とした外国人住民と日本人住民の交流事業「日本×台湾料理交流会」の講師を務めていただき、誠にありがとうございました。

同事業においては、異なる国籍の参加者の皆様が料理をしながら異文化の魅力を体験するとともに、国際的な友好と理解を深める機会となり、本市が進める多文化共生社会の実現に向けた取組のモデルケースとして、大変有意義なものであったと考えております。

また、これまでも、３月30日に開催しました「みなと de たぶんか」にもご参加いただき、11月30日には、港区繁栄商店街において開催された「多文化マルシェ」にも台湾料理ブースを出店いただくなど、南市岡地域における多文化共生の取組に継続的なご協力を賜りましたことに対しまして、重ねて御礼申し上げます。

このような取組で得られた成果が活かされ、今後、南市岡地域における多文化共生のまちづくりが一層進んでいくものと期待しております。

お伺いのうえ御礼申し上げるところ、書中をもって失礼いたします。

敬具

大阪市市民局局長的感謝函

2026/11/3 下午 12:39:57

僑校校長陳洳豔無私奉獻 深耕日本文化交流 三度獲地方政府表揚

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09



陳校長到英田南小學為近百位五年級學生介紹台灣

2026/11/3 下午 12:39:57

僑校校長陳泇豔無私奉獻 深耕日本文化交流 三度獲地方政府表揚

#

大阪弁天町臺灣華語教室

活動時間：2025-05-09



ホーム ＞ みんなの活動報告 ＞ 港区「日本×台湾 料理交流会」を開催しました

みんなの活動報告

投稿日：2024.12.27

港区 「日本×台湾 料理交流会」を開催しました

一般財団法人日本国際協力センター 関西支所

多文化共生 港区

シェア ポスト LINE

みんなの活動報告内容

12月15日 港区民センター（港区土地区画整理記念・交流会館内）にて、「お正月」をテーマとした日本人住民と外国人住民の料理交流会を実施しました。

この日は日本人住民16名、外国人住民17名（台湾、インド、シンガポール、中国、パキスタン、フランスといった様々な国と地域の方々）が参加し、日本人住民・外国人住民混成の4グループに分かれて、台湾の湯圓（タンユエン）と日本のお雑煮を作りました。

湯圓は、五色の白玉団子を丸めてゆで、黒糖生姜シロップと一緒に食べるお正月の料理で、弁天町駅近くにある「台湾キッチン」の陳泇豔（チン・ジョエン）さんを講師に迎え、作り方を教えていただきました。講師の陳さんからは、作り方の説明だけでなく、縁起の良い言葉が書かれた「春聯（チュンリエン）」という赤い紙を参加者に配り、その言葉の意味についても解説していただき、グループで和気あいあいと見せ合う様子が見られました。日本人住民の方からは「台湾と日本の料理の共通点、違った点を知ることができてよかった」という感想がありました。日本のお雑煮をはじめて食べた外国人住民の方々の中には「すごく美味しかった。お正月に作ってまた食べたいです」と話す方もいました。そして「とても楽しい経験になった。ぜひ来年もイベントを続けてほしい」という声が聞かれました。

同じ分野のみんなの活動報告を見る

地域活動の『若い担い手』がたどったストーリー

待ちに待った・・初めての"わっしょい北巽"

1分動画「100人リレーチャレンジ」：【入浴サービス株式会社】様 公開されました！

1分動画「100人リレーチャレンジ」：【東淀シニアお元気活動サポート協会】様 公開されました！

世代間交流北鶴橋地域盆踊り大

大阪市市民局官方的活動報導



東大阪市教育委員會的感謝狀